



今回は『英語で想いを語る会』についてお伝えします。

『英語で想いを語る会』

日 時：平成 28 年 8 月 26 日 (日)

場 所：大垣市スイトピアセンター

主催者：岐阜県日米協会、在名古屋米国領事館

内 容：1987年の発足以来、会員一人ひとりの草の根的発想と活動の積み重ねにより、日米両国国民相互の友好・理解及び交流の促進を図ることを目的として、様々な活動を展開している団体、岐阜県日米協会。その岐阜県日米協会が在名古屋米国領事館と共催で、今年度初めて開催したイベントが『英語で想いを語る会』です。競争を目的とするコンテストではなく、「ふるさと自慢」や「将来の夢」「海外で感銘を受けたこと」等、参加した高校生の想いをベースに、会場の皆さんとの交流を図ることを目的としています。

「我がふるさと関」の魅力を英語で伝え、想いを交流しました！

今年度は、大垣北、各務原、岐阜、県岐阜商、関、高山西、富田、中津、長良の9校から42名が参加し、在名古屋米領事館のスティーブン・コバチーチ首席領事や協会員らの前で、各校1～6名のグループが持ち時間15分間で発表しました。本校からは、**2年2組 長屋 花音さん、2年2組 遠藤 美帆さん、大藪 実礼さん、瀬口 杏実さん、高橋 優希さん、2年6組 小川 和歌菜さん**が参加しました。我が関市は刃物や鶯飼など誇るべき伝統があること、関高校は、学習や生活、行事あらゆる場面で練磨する姿が見られること、また県SGHに指定されたことから、個人またはグループで国際問題について、課題研究を行い、国際貢献を目指していること、イギリスやベトナム等海外研修にて国際交流をし、グローバルな視点で発信する力を培っていること等を、映像を交えて英語で堂々とプレゼンテーションしました。また、発表後の質疑応答も英語で対応し、「この関の魅力を今度行くイギリスの高校で伝えてきたい。そしてイギリスの高校生が今ある国際問題についてどう考えているか、学んできたい。」と今後の抱負を述べました。



会を終えて、参加した生徒は「他校生が今取り組んでいることや、普段身近なことでも知らなかったことが分かって、興味深かった。」「英語で交流するのは難しかったけど、楽しかった！」と語りました。

